2024年度　通信教育実施計画

教科	国語	科目名	言語文化	単位数	2 単位
教育目標	伝統的な国語の文化に触れ、正しく理解するための基礎知識を身に着け、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばすことができるようにする。また、言語感覚を磨き作品を通じて豊かな心情を育てる。				
スクーリング	2 時間	合格時間数	2 時間	教科書名	東京書籍「新編言語文化」
レポート	6 通	合格通数	6 通	副教材名	なし
メディア学習	6 通	合格通数	6 通	その他教材	2 通
評価	5段階評価、観点別評価の実施			単位認定試験	9月・2月

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習
4月	さくらさくらさくら とんかつ	・語句の意味を正しく理解する。漢字の読み書きが正しくできるようにする。 ・文章の構成を理解し、主題を的確に捉える。 ・登場人物の心情を的確に読み取る。	前期１回	第１回	第１回
5月					
6月	柳あをめる 雪の深さを 冬が来た	・語句の意味を正しく理解する。漢字の読み書きが正しくできるようにする。 ・詩歌のそれぞれの特色を知り、独自の表現技巧や比喩表現を理解し、主題を的確に捉える。		第２回	第２回
7月	羅生門 夢十夜	・語句の意味を正しく理解する。漢字の読み書きが正しくできるようにする。 ・構成や内容から主題を的確に捉え、登場人物の心情を理解する。		第３回	第３回
8月	復習	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習 （前期単位認定試験）	前期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
10月	今日はそのことをなさむと思へど（「徒然草） 折々のうた	・歴史的仮名遣いを正しく現代仮名遣いに読み替えることができる。 ・古語の意味を適切に解釈できる。 ・文意や歌意を理解し、主題を捉える。	後期１回	第４回	第４回
11月	芥川（「伊勢物語」） 木曽の最期 （「平家物語」）	・歴史的仮名遣いを正しく現代仮名遣いに読み替えることができる。 ・古語の意味を適切に解釈できる。 ・文意を理解し、主題を捉える。		第５回	第５回
12月	訓読の基本 絶句と律詩 論語一八章	・送り仮名・返り点・句読点に基づき、正しく訓読できる。また、置き字や再読文字、返読文字を理解し、指摘できる。 ・語の意味を理解し、書き下し文に基づき文意を理解し、主題を捉える。		第６回	第６回
1月	復習	後期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
2月	復習 （後期単位認定試験）	後期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			